



令和4年度 猪名川町 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：3名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・キャラバン・メイトとの認知症カフェの企画・運営
 - ・脳の健康教室等の認知症予防事業
 - ・認知症の人の社会参加支援、地域での居場所作り支援
 - ・認知症サポーター養成講座、行方不明者捜索訓練の企画・運営
 - ・猪名川町でのチームオレンジの模索

報告者氏名

菅野淳子、江原有紀（猪名川町地域包括支援センター所属・認知症地域支援推進員）

田中 春菜（生活部保険課介護保険担当）

猪名川町 認知症施策全体図

	発症前	軽度認知障害 (MCI)	初期	中期	進行期	終末期
	物忘れはあるが、日常生活は自立。	認知症の疑いはあるが、金銭感覚や買い物、日常生活は自立。	金銭感覚や買い物のミスはあるが日常生活は自立。	服薬管理、電話訪問対応が困難。誰かの見守りがあれば日常生活は自立。	着替えや食事・排泄がうまくできない。日常生活に手助け・介護が必要。	ほぼ寝たきりで意思疎通が困難。常に介護が必要。
相談 家族支援	民生委員 ・ 福祉委員 ・ 地域包括支援センター ・ ケアマネジャー					
	認知症相談センター ・ 認知症サポーター ・ 認知症カフェ ・ 初期集中支援チーム ・ 介護ほっこりおしゃべり会 ・ 認知症地域支援推進員					
見守り 安否確認 (緊急時)	安心キット ・ 民生委員 ・ やすらぎ支援員 ・ ご近所の方 ・ ご家族 ・ 福祉委員					
	高齢者見守り登録 ・ QRコードシール ・ SOSネットワーク ・ GPS貸与					
	緊急通報システム ・ 消防 ・ 警察					
医療	認知症検診					
	かかりつけ医 ・ かかりつけ歯科医 ・ かかりつけ薬局 ・ つながりノート ・ 認知症専門医					
予防・交流 活動	健康長寿体操教室 ・ 脳の健康教室 ・ もの忘れ相談プログラム ・ ふれあいサロン ・ 老人クラブ					
役割	シルバー人材センター ・ 家での役割 ・ 地域での役割					
生活支援 身体介護	地域包括支援センター ・ ケアマネジャー ・ 協会の会員 ・ 介護保険サービス ・ やすらぎ支援員					
住まい・施設 居宅系サービス	住宅改修 ・ 住宅改造	グループホーム ・ 軽費老人ホーム(ケアハウス) ・ 有料老人ホーム ・ 特別養護老人ホーム ・ サービス付き高齢者向け住宅				
介護サービス	デイサービス ・ デイケア ・ 訪問介護 ・ 訪問看護 ・ ショートステイ					
権利を守る	消費生活相談 ・ 成年後見相談 ・ 日常生活自立支援事業					
啓発	認知症サポーター養成講座 ・ 認知症キャラバン・メイト養成研修 ・ 認知症講演会等					

認知症を起点とした居場所の取組みについて

居場所の取組み①

通常のオレンジCafe

ショッピングモールの空き店舗活用
年10回開催



出張オレンジCafe

①小規模多機能型施設と青空で開催

②ショッピングモール内の薬局と

③地域の喫茶店で自治会・福祉委員と



効果

①専門職・ボランティアが地域での活動の機会となっている。

- ・老健のセラピスト
- ・地域活動の栄養士
- ・傾聴ボランティア
- ・就労B型でのコーヒー販売
- ・キャラバン・メイト

②地域住民が相談を意識せず参加できる。



課題

当事者や家族が気軽に来やすい場所にはなっていないのでは？



⇒毎年、関係者での意見交換会行っており、
R5年度も意識して取り組んでいく予定



居場所の取り組み②

認知症予防教室「脳の健康教室」自主運営支援

- ・中学校区3か所一長い所で6年目！！
- ・サポーター養成しての自主ボランティアグループ化
- ・公文式を取り入れた30分読み書き

30分体操レク

30分おしゃべりタイム

1回1時間半の内容で毎週開催





最近は、認知症の診断あって、介護認定ある方も受け入れている。



最大の効果 サポーターと受講生お互いのフレイル予防
仲間作りの場となっている。

スゴイところ💡

事業とボランティアのコラボで長く継続していること♥♥

認知症にやさしいまち から 認知症とともに暮らすまち 猪名川町へ



最後に・・・

— 今後に向けて —

専門職・ボランティア・住民と一緒に様々な居場所の取り組みを模索していきます。

